© Eiji Kikuchi

# こんな有名な曲を、こんなことにしちゃうんだ！

## ビッグバンドで、交響曲『新世界より』に挑む

ジャズピアニスト

# 山下洋輔

トロンボーン奏者・楽曲アレンジ

# 松本治

INTERVIEW 対談

取材＝三月五日@東京・渋谷　テキスト＝スタッフ 山川 愛
写真提供＝フリーペーパーMEG　撮影＝中野建太

**四度目の春日井公演を迎える、山下洋輔スペシャル・ビッグバンド。『ラプソディー・イン・ブルー』『ボレロ』に続き、二年前のコンサートでは『組曲・展覧会の絵』のビッグバンドバージョンで熱狂の渦を巻き起こしました。冒頭の印象的なトランペットに始まり、フリーセッションあり、全員のソロパートあり。まさにフルコースの構成と演奏は、一つのエポックメイキングとも言える衝撃を走らせました。**

**そして今回、また新たな局面を迎えます。ビッグバンドで交響曲『新世界より』を初披露、そしてコンサート自体も『組曲・展覧会の絵』との二曲のみという、異例のステージを開催することになりました。**

**このビッグバンドの親分である山下洋輔と、アレンジャーの松本治に、『新世界より』編曲前の構想段階でお話を伺いました。スイングしまくる二人の会話に、期待大。さあ、今度は何をやってくれるのでしょう!!**

**――今回は、三大交響曲の一つ『新世界より』に挑戦されると伺いました。現時点で考えていらっしゃる編曲の構想を、お伺いしてもよいですか？**

**松本**　『展覧会の絵』の時は、第一曲から書き始めたんですけれど、今回の『新世界より』は第四楽章から手をつけようと思っているんです。ドヴォルザークがアメリカ滞在中に、故郷への郷愁と新天地アメリカの雰囲気をミックスして書いた作品ですから、思い切ってジャズの名曲を入れてしまおうと。一番盛り上がるメロディーの背後や、少し静かになる場面に「あの名曲が聴こえてくる！」みたいな。アメリカということで、原曲にジャズが入りこんでいく、そんなアイディアが組みあがったので、面白くなる確信があります。

**山下**　いやあ、素晴らしい！小説家の筒井康隆さんが「自分が一番面白いと思ったところから書く」と、最近の講演で話していたそうです。全体の構成を考える前に、面白いと思うところから考えればいい。その通りのことを松本さんはやってますね（笑）

**松本**　面白いところができれば、周りが膨らんでいきますから。

**山下**　中心ができれば「しめた！」ですもんね（笑）

**松本**　そうなんです。

**山下**　誰もが知ってる『ゴーイング・ホーム（遠き山に日は落ちて）』もあるしね。

**松本**　あそこは山下さんとアルトサックスで。

**山下**　もう、決まってますね（笑）

**松本**　二人を大フィーチャリングし、我々がどう絡み、引きずり回して、爆発させるか。でも、それだけじゃダメなんで、第四楽章を爆発させたい。

**山下**　チャーミングなメロディーがたくさんあるよね。

**松本**　それだけに頼らず、掟破りをしようと。

**――ヤバいですね。大変衝撃を受けております。**

**山下**　僕も衝撃です。ビックリするね、我ながら。交響曲の中にありとあらゆるジャズの要素が入って、全てのジャズを聴くことができるようになっているはずです。

**――クラシックでも交響曲全曲を聴くのはハードルの高いことだと思います。**

**山下**　でもジャズは聴かせちゃいます。

**松本**　交響曲じゃなくなっちゃうかも？　でも、全体としては『新世界より』を聴いたという印象がもてるような編曲をしたいと思います。

**山下**　全員がフリーで演奏する部分ってある？

**松本**　もちろんです。

**山下**　僕が望むところは全て実現されている！　フリーが加速していったら、そこから何かが出てくるんですよね。

**松本**　第三楽章あたりに入れこもうかと。

**山下**　ああ、楽しみだなあ。最初の音も、何もかも楽しみだよ！

**――クラシック音楽には挑みたくなる何かがあるのでしょうか。**

**山下**　時代に耐えて残っているので、やはり魅力的なものが多いんですよ。

ジャズは大昔から、誰もが知っている曲を、演奏する人がちょっと変な感じに変えてみせる。フェイクといって、メロディーを飾ったり歪めてみたり。コイツのやり方はこうなんだ、っていう楽しみがあります。もう一つは、楽曲のエッセンスである元の和音やリズムを取り出して、その上で即興演奏し、優劣を問うわけです。バッハもモーツァルトもベートーヴェンもやっていました。その優劣を競うコンテストがあったという話も聞きました。素晴らしいことですね。

そういう音楽の聴き方が、今ではジャズしかないんです。それをビッグバンドで素晴らしくやっちゃいたい。こんな有名な曲をコイツらはこんなことしちゃったんだ、と驚かせたい気分があるわけですね。

**――編曲の段階で既に、個々のプレイヤーの顔を全員思い浮かべながら作っていらっしゃるんですか？**

**松本**　そうですね。全メンバーに信頼をおいているので、「この場面で彼をちょっと前に出すと面白いことやってくれるだろう」と考えながら。限界を考えなくていいメンバーなんで、本当にありがたい。まあ、何とかしてくれるだろうと。

**山下**　私には限界はあります（笑）。でも松本さんは、プレイヤー全員がアンサンブルもソロも満足できる編曲ができる。難しいんですけど、みんな喜んでやってくれる。嬉しいことですね。

山下さんが凄いのは、誰の音楽性も否定しないこと。
コイツ、面白いなと思ったら、にゅるにゅるにゅると引き出して、
絡め取っていく（笑）。そういう人なんです。凄いですよ、本当に。

**松本**　山下さんが真ん中にいることが大きいんです。「全部OK」と言ってくれる許容力というか、きっと応えてくれるだろうという期待感とか。おまかせすれば、その場をどうにかしてもらえるだろうとか。

**山下**　松本さんはその全てを、あうんの呼吸でわかってくれるんです。

**――山下さんにおまかせするパートは楽譜に指示が書かれているんですか？**

**松本**　テーマを匂わせるようなものと、参考になるコード進行を少し書いて、後は「このメロディーを主体に、いろいろと」って書きました。

**――本当に書いてあるんですね！**

**松本**　「エリックを前に」とかもね（笑）

**山下**　ある人が前に出て演奏することを想定して、他の人の音を作るんですよ。その人がいなくてもいいように。

**松本**　オーケストラでは無いことです。だから、ショーでもあるわけですよ。山下さんがステージに出てきてピアノの前に座る。今日はどんなことが始まるんだろう！っていう期待感がね。

**――チームの楽しさが伝わってきます。**

**山下**　みんなで一緒に音を出す。楽譜があるけれど、一緒にジャズをやる、ビッグバンドにしかできない快感があります。

**松本**　あらかじめ設計図はひいてありますが、必ずしもメンバー全員の気持ちが到達するわけではありません。高揚感を導き出すリーダーがいないと上手くいかないわけです。

**――合った！という瞬間はメンバーに響き渡りますか？**

**松本**　嬉しい感じが、そのまま伝わります。みなさん手練れで経験を積んでいらっしゃる方ばかりですけれど、大人数で「にんまり」という感じ。

**山下**　「してやったり！」という瞬間も観てほしいね。

**松本**　メンバー全員の技術力もありますが、何といっても山下さんの統率力に尽きます。山下さんが凄いのは、誰の音楽性も否定しないこと。コイツ、ここが面白いなと思ったら、にゅるにゅるにゅると引き出して、自分に絡め取っていく（笑）。そういう人なんです。凄いですよ、本当に。

**――なかなか、できることではありません。**

**松本**　大抵の人は失敗を嫌いますから。でもこのビッグバンドは、親分にまかせておけば何とかしてくれるという信頼関係があるんです。

**山下**　自分のできることは限られていて、その中で表現ができている、という見極めはありますね。それを駆使できるものであれば、なんでも挑戦しちゃいたい。対象によってではなく、どんな相手でも、どんな音楽でも、自分のやり方でできると思えば、やりたくなっちゃう。だから、失敗は考えたことがないですね。「今、出ちゃった」そういうものですから。

**松本**　音楽は終わるまで止めちゃいけない、という原則があります。そのためのセンスと努力が要るんです。

**――なるほど。そんなオールスターメンバーによる『展覧会の絵』の再演、そして『新世界より』の二曲だけのコンサート、楽しみにしています！**

## 山下洋輔 スペシャル・ビッグバンド コンサート2014

**6/29（日）16:00～**（開場は30分前）
｜ 春日井市民会館
［チケット情報］一般発売 4/5（土）　Point 3%
［料金］¥6,500、学生（25歳以下）¥3,000
PiPi会員は上記金額の¥500引き
全席指定、当日券同額、未就学児入場不可
［取扱い］文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話&インターネット予約
チケットぴあ（Pコード222-563）
ローソンチケット（Lコード46081）
［主催］かすがい市民文化財団、プラネットアーツ
［企画制作］プラネットアーツ、ジャムライス

**【山下洋輔スペシャル・ビッグバンド メンバー】**
山下洋輔［pf］、金子健［b］、高橋信之介［ds］
［Trumpet］エリック宮城、佐々木史郎、木幡光邦、高瀬龍一　［Trombone］松本治、中川英二郎、片岡雄三、山城純子　［Saxophone］池田篤、米田裕也、川嶋哲郎、竹野昌邦、小池修

取材時に『展覧会の絵』の楽譜を見せていただきました。なんと、全部手書き！
**松本**「コンピューターだとイメージが固まり広がらなくって。手書きだと音が鳴るまでわかりませんから。なぁんてことはありませんけどね（笑）」
**山下**「頭の中で音が響いちゃうもんね！」

**待望のCDリリースが決定！**
**コンサート会場のみで販売！**
NOW PRINTING
**ボレロ｜展覧会の絵**
2012年7月開催の、サントリーホール公演をライブ収録。感動と興奮を再び！
演奏＝山下洋輔スペシャル・ビッグバンド
ゲスト＝茂木大輔（ob）
JamRice　JACD-1401　¥2,500（税込）

**松本治が、春日井市内の高校にクリニックに行ってきました！**

春日丘高校の練習場でソロ演奏を披露した松本さん。P14では、春日井東高校のクリニックを紹介しています。（3/12開催）